

汚れつちまつた悲しみに……」書かれていないことを読み取る

《目標》クラス全員が「汚れつちまつた悲しみ」とはどういうものかを自分の言葉で説明できる。

詩はたくさんの言葉が省略されている。その言葉を補つたり難解な言葉を普段自分が使つてゐる言葉に代えたり、比喩で表されてゐる語を日常使う言葉に換えたりしてして、「汚れつたまつた悲しみに……」の解釈文（今回は妄想をふくらませる「擬賞文」ではなく、話者が語つてゐる世界を「解釈」する）。を作成する。

「わかりやすさ」の対象として、中学校1年生がわかる。表現を目指す。

《フォーマット》各行(1~16)ごとに改行を入れて記す。行頭に行番号を記す。題名と作者名を1~2行目に記す。その他はいつもと同じ。

《注意点》

①とにかくこだわる。「わからないところを自分で見つけて、それをわかるようにする。」ことを心がける。とにかく、いつもなら「そんなのわかつている」とやり過ごすような言葉にも注目をして、こだわって、解釈をしていくこと。

⑤ ④ 「**詩人は細部にこだわって言葉を選ぶ。どうしてその言葉が使われているのか？絶えず疑問を持つ**〔例〕「汚れつちまつた」……「汚れた」ではダメなのか？「つちまつた」と表現することで、どんな雰囲気、イメージを表現しようとしているのか。

③ ノートに書くときは、詩の文法や語順をあまり変えないで言葉を換えたり、補つたりすること。
（※百人一首の「鑑賞文」と一番大きく違うところ。）

④ 5 W 1 H を頭に置いて、どんどん補つていくこと。

《視点例》第一連》注意すべき表現を示す。その他の表現にもこだわって考えてみること。

- 誰の「悲しみ」？話者のものなのか、話者とは別のものなのか？
 - 汚れた「悲しみ」とは？そもそも「悲しみ」は「汚れ」るものなのか？
 - 「悲しみ」に「小雪」が「降りかかる」とはどういうこと？
 - 大雪ではなく、「小雪」なのはなぜ？「桜の花びら」、「落ち葉」ではダメなの？
 - 「吹きすぎる」を別の言葉で言い換えると？
 - 「悲しみ」に「風」が「吹きすぎる」というのはどういうこと？
 - 「さえ」の意味は？

